



独立行政法人
地域医療機能推進機構

北海道病院 広報誌

Vol.38

令和5年
8月28日発行

北海道病院 だより

特集

P1 創立70周年記念～病院長より当院の展望～

P3 今月の診療科紹介 | 循環器内科のご紹介
～不整脈外来のお知らせ～



Contents

P4 MRI超音波融合前立腺生検
始めました

P5 NST実地修練報告

P6 第61回 リバーサイド消化器懇話会
災害救急指定日

今号の1枚 ～表紙写真紹介～





当院の創立70周年の

振り返りと今後の展望



独立行政法人
地域医療機能推進機構(JCHO)
北海道病院
院長 古家 乾



2023年7月28日は4年ぶりに病院としての花火大会鑑賞親睦会が開催されました。病院全体の行事としての親睦会は、2020年の新年会以来になります。この3年半余り、新入職員の歓迎会も開催できず、1人で黙食の環境が当たり前になり、新入職員にとっては馴染みにくい職場であったと思います。今回は天候にも恵まれ、久しぶりに札幌の夏の風物詩を職員と共有できたことは非常に感慨深いものでした。

当院は結核診療を主体とする北海道社会保険中央病院(224床)として1953年(昭和28年)2月24日に医療法上の許可があり、2月27日から結核を主に診療を開始しました。当時は「札幌郡豊平町中の島」という所在地でした。従って、2023年2月27日で創立70周年を迎えました。その間、1957年(昭和32年)には319床まで増床しましたが、結核患者数の激減に伴い結核病床の比率を漸減してきました。1961年(昭和36年)には札幌市に合併され、札幌市南部地域の真駒内地区に大規模住宅団地が建設され、人口が急増しました。1964年には350床(一般病床175床、結核病床175床)となり、結核から一般病院へと変化していきました。1972年(昭和47年)の第11回札幌オリンピック冬季大会では、当院の職員が医療班として協力しました。翌1973年(昭和48年1月)に総合病院(一般病床251床、結核病床99床、合計350床)の承認を受け、さらに1978年(昭和53年)には結核病床を46床まで減床し、一般



病床304床となり、現在の病院にかなり近い体制となりました。2001年(平成13年)3月に現在の新病棟が竣工し、北海道社会保険病院と名称を変更しました。この時が名実ともに一般急性期病院への完全転換であったと思います。2003年(平成15年)12月に新外来管理棟も竣工し、現在の病院が完成しています。2004年(平成16年)に新臨床研修制度の管理型及び協力型研修指定病院の指定を受け、入院包括医療制度(DPC)を導入しました。また結核病床36床を休床とし、実働10床に減床しました。2010年(平成22年)4月に特例病床8床(NICUと小児科)の追加許可を受け、一般病床312床、結核病床46床(稼働10床、休床36床)の現状と同じ体制になっています。さらに、2014年4月に長らく続いた社会保険病院の名前から、新たに独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO)北海道病院に病院名が変更となり、厚労省直轄の病院になりました。この約70年間あまりにお世話になりました諸先輩の医療従事者の方々、地域でこの病院を応援していただいた皆様に心から御礼を申し上げます。

結核病院としてスタートし、急性期一般診療に変貌した後、新型コロナウイルスのパンデミックに遭遇したことで、改めて医療の難しさを感じさせられました。廃止寸前の結核のための陰圧病床が、結果的にパンデミックの初期に道内各地から結核患者を広く受け入れ、さらに新型コロナウイルス感染患者も合わせて受け入れた設備として貢献できました。

2024年4月からスタートする第8次医療計画には、5疾病6事業として新たな対策が盛り込まれますが、今後の日本の経済、社会情勢のあり方そのものが医療体制にも大きく影響してきます。71年目に踏み出しておりますが、改めて当院の目指す医療とは何かを職員一同見つめ直して、地域に信頼される医療機関を目指したいと思います。



今月の
診療科紹介



循環器内科のご紹介

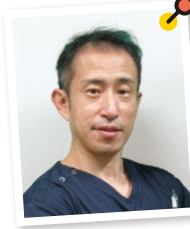
～不整脈外来のお知らせ～



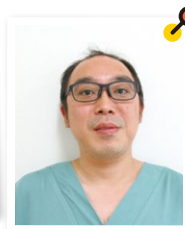
常勤の循環器専門医

令和2年から循環器内科は**常勤体制**となりましたが、
おかげ様で順調に診療体制が整ってきました。

令和5年より、常勤の循環器専門医が
2名から3名へ増員となりました。



部長
高橋 将成



医長
水上 和也

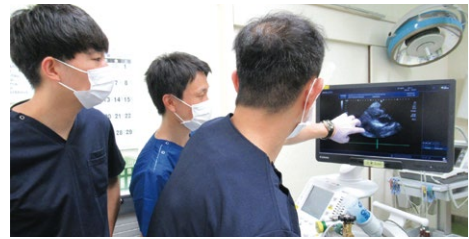


本居 美羽

幅広い不整脈治療に対応できるようになりました

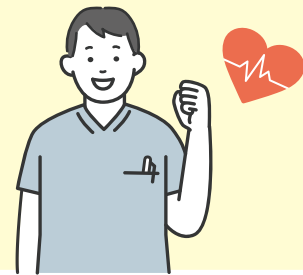
これまでも幅広い循環器疾患に対応しておりましたが、本年の当科のニュースは、**不整脈専門医によるカテーテル心筋焼灼術**がはじまり、**幅広い不整脈治療にも対応できるようになった事**です。

これまで通り、虚血性心疾患に対する経皮的冠動脈形成術は待機例・緊急例問わず対応し、札幌市の循環器2次救急当番や、ACSネットワークへも参入して**救急診療**にも力を注いでおりますが、緊急搬入からカテーテル治療完遂時間(Door to balloon timeと言います)も3年間でかなり短縮しています。



下肢閉塞性動脈硬化症をはじめとした末梢血管疾患への診療も積極的に行っております。

冠動脈だけでなく、臓器虚血が問題となる末梢血管への経皮的血管形成術にも幅広く対応していますので、色々御相談いただければ幸いです。



心臓リハビリテーション認定医や心臓リハビリテーション指導士の協力のもと、社会問題となっている**地域の心不全診療**に取り組み、入院だけでなく外来へ繋げる心臓リハビリテーションを心がけております。

札幌市内の中核病院として、より幅広く充実した医療を提供できるよう今後も邁進し、地域の皆様や近隣の先生方のお役に立つ事ができるよう今後も努力してまいります。



MRI超音波融合 前立腺生検 始めました

泌尿器科 医長

高柳 明夫



泌尿器科では**MRI超音波融合前立腺生検**を開始しました。従来の超音波ガイド下生検に比べて、より正確に安全に前立腺癌の診断が可能になります。

前立腺癌が疑われる方、**前立腺生検**を勧められている方は、ぜひ当科での検査をご検討下さい。

前立腺生検とは？

前立腺生検とは、前立腺の組織の一部を針で取り、顕微鏡で前立腺に癌ができていないか見て、確認する検査です。

院内における、**MRI超音波融合前立腺生検装置**の導入により、前立腺癌の診断精度が向上します。

■ 通常の 前立腺生検

経直腸エコーで前立腺を観察し、前立腺を均等になるように穿刺します。



■ MRI超音波融合前立腺生検

エコー画像とMRI画像を融合することで、超音波画面にMRIで異常が疑われた部位が表示されます。その部分を狙って穿刺を行います。



MRI超音波融合
前立腺生検装置

より効果的な前立腺がんの摘出、不要な前立腺生検の削減を実現し、患者さまの苦痛の削減をサポートします。

PSA値が高い場合(基準値は4.0ng/ml)や、MRIで前立腺に異常な信号を認める場合などに**前立腺癌**が疑われます。従来は超音波ガイド下に前立腺生検を行っていましたが、現在もそのように行っている施設が多いです。MRI超音波融合前立腺生検は、MRI画像と超音波画像を融合させることにより、癌が疑われる部分を描出することが可能なため、病変をより正確に生検することが可能です。そのため**従来の超音波ガイド下生検に比べて、癌の診断精度が高い**ことが報告されています。また、MRI超音波融合前立腺生検を開始すると共に、生検の方法を従来の経直腸的から経会陰的に変更しました。経会陰的生検は会陰部から穿刺する方法ですが、出血や感染症などの合併症が少ないことが報告されています。

MRI超音波融合前立腺生検を行うことで、今までよりも正確に、安全に前立腺癌を診断することが可能になりましたので、興味がある方はぜひ泌尿器科までご相談ください。



NST専門療法士受験にかかわる 臨床実地修練のご報告

栄養管理室 室長 瀧川 博子



当院では昨年度に引き続き、6月19日から5日間、NST専門療法士の取得やNST専従・専任を目指す方を対象に臨床実地修練を開催致しました。

うれしいことに今年度も応募開始日に定員10名に達し、すぐに応募を終了したほどでした。札幌市内近郊はもとより、函館や砂川市、登別市などのご施設から参加された12名の修練生(看護師6名、薬剤師3名、管理栄養士3名)は、各講義に積極的に参加されていました。



またスケジュールでは、「日常業務で栄養面からしっかり治療をサポートできるよう、40時間でより多くのことを学んでほしい」と考え、単純XpやCT、緩和ケアなどの講義、身体計測や簡易懸濁の実技、栄養評価や栄養プラン立案のグループワークも取り入れて充実を図りました。

最も印象的だったのは、**症例検討のグループワーク**です。症例で提示した患者さんに最も適した栄養管理法や栄養量について、各職種の専門的立場から多くの意見が出されており、設定した検討時間で足りないのでは?と心配になるほど、熱い討論がなされていました。このグループワークを通して、病態の栄養管理や多職種が連携していく大切さを改めて学ぶことができたのではないかと思います。



あっという間の5日間でしたが、当院のNSTメンバーも他施設の活動を知るよい機会となり、有意義な修練期間となりました。

最後になりますが、参加されたご施設のNST活動の充実と修練生の皆さんのご活躍を心よりお祈り申し上げます。



令和5年7月11日(火) 18:20より、第61回リバーサイド消化器懇話会が開催されました。前同様に、会場とオンラインを併用したハイブリット形式での開催となりました。

会場参加者は院内医師11名、院外医師6名、院内メディカルスタッフ3名、オンライン参加者は院外医師26名、メディカルスタッフ3名、合計49名でした。

「隣全摘となったIPMN由来膵癌症例の検討」「直腸子宮内膜症手術症例の検討」の2題の講演後、特別講演として、JCHO北海道病院消化器センター 馬場英医師より「増加する脂肪性肝障害と新しい疾患概念「MAFLD」について」、北海道大学大学院薬学研究院分子細胞医薬学 教授 大西俊介先生より「KANPO -最近のエビデンスと可能性-」についてご講演いただきました。

次回は**11月**の開催予定となっております

決まり次第追ってご連絡をいたします。
沢山の方々のご参加をお待ちしております。



災害救急指定日

令和5年

9月 7日(木) 14日(木) 10月 7日(土) 19日(木)

11月 4日(土) 16日(木) 12月 9日(土) 22日(金)

※災害救急指定日は、やむを得ぬ事情により変更する場合があります。毎日の新聞紙等でご確認ください。

今号の1枚



表紙写真紹介

今回創立70周年を記念し、上空からドローンで病院を撮影しました。

藻岩山、そして豊平川とその支流である精進川に囲まれた地域にある病院です。

景色の移り変わりを眺めながら、地域に根ざした医療体制を提供していきます。



JCHO北海道病院 各科外来診療担当医師

【午前の受付時間】 8:00～11:00 (診療開始 8:45～)

【午後の受付時間】 12:30～15:30

(診療開始は各診療欄をご覧ください)

● 病院代表電話 : 011-831-5151

● 予約変更直通電話 : 011-831-5489 (平日 9:00～16:00)

※担当医師、診療時間について変更になる場合がございます。

診療科	午前・午後	月	火	水	木	金	
総合診療救急科	内科系 午前 午後(救急車のみ)	北尾直之 南秀明 高橋将成	志田玄貴 小山智之 本居美羽	前田由起子 村山千咲 井上直樹	前田由起子 南秀明 高橋将成	前田由起子 小山智之 木村銀河	
循環器内科	午前 午後(診療13:00～)			水上和也		不整脈外来 (第3金曜日)【予約】 木村銀河 ペースメーカー外来(第1金曜日)	
心臓血管外科	午前		吉田俊人				
呼吸器内科	午前	1診 村山千咲 2診 水島亜鈴	原田敏之 谷口菜津子	原田敏之 谷口菜津子	長井桂 水島亜鈴	秋山采慧 長井桂	
消化器内科	午前 午後(診療14:00～)	1診 古家乾 2診 馬場英 3診【予約】野口卓郎(化学療法) 坂本直哉【予約】	甲谷理紗子 定岡邦昌 合田智宏(化学療法)	古家乾 菅野究 竹内啓(化学療法)	大原正嗣 定岡邦昌 田口純(化学療法)	保浦直弘 馬場英 田中智之	
腎臓内科	午前	山本準也		関真秀	山本準也	関真秀	
膠原病内科	午前【予約】	志田玄貴	冲庸太郎		志田玄貴	志田玄貴	
糖尿病・内分泌内科	午前 午後【予約】	1診 牧野圭祐 2診 牧野圭祐(13:30～)	北尾直之 國崎哲 北尾直之(14:00～) 國崎哲(14:00～)	牧野圭祐 牧野圭祐(13:30～)	北尾直之(14:00～) 國崎哲(14:00～)	小山智之 國崎哲(14:00～)	
内科	午前	1診 2診	大江真司【予約】 前田由起子	竹内正	大江真司【予約】		
小児科	午前	1診 板倉治 2診 椿淳子	板倉治 椿淳子	板倉治 椿淳子	宮川雅美 椿淳子	宮川雅美 椿淳子	
		3診 長和俊(10:00～)			中久保佐千子(9:00～) (月2回)【神経】【予約】 長和俊(10:00～)	長和俊(10:00～)	
	午後(診療13:30～)	一般慢性外来【予約】 新生児フォローアップ【予約】 乳児健診【予約】	板倉治 恩田哲雄 伏屋菜穂 【フォローアップ】	板倉治 椿淳子 加藤はるか 【喘息・アレルギー】	乳児健診【予約】 恩田哲雄 【フォローアップ】 予防接種【予約なし】 受付時間12:30～14:30 長和俊(15:00～)	宮川雅美 加藤はるか 【喘息・アレルギー】 中久保【神経】(月2回) /永井【循環器】(月2回) 赤城秀紀 【フォローアップ】	宮川雅美 伏屋菜穂 赤城秀紀 【フォローアップ】 乳児1ヵ月健診 【産婦人科外来】
		1診 庄野泰弘 2診 酒井俊彦(10:00～) 3診 岩崎美憲	庄野泰弘 酒井俊彦 寺島理代	庄野泰弘 寺島理代 岩崎美憲	遠藤健(第1週) 酒井俊彦 出張医	五月女慧人(第4週) 寺島理代 岩崎美憲(10:00～)	
外科	午前	一般 専門外来(初診・紹介) 予約	肝・胆・脾外科 乳がん検診	乳腺・甲状腺外科 乳がん検診	胆石症外来 乳がん検診	呼吸器外科(肺癌、気胸、嚥胸) /内視鏡外科 乳がん検診	
	午後(診療14:00～)	一般 乳腺外来【予約】		(第1・3週)富岡伸元 (第2・4週)田口和典			
泌尿器科	午前 午後(診療14:00～)	1診 高柳明夫 2診 齋藤庸子(10:30～) 高柳明夫	豊田朋弘 齋藤庸子(10:30～)	高柳明夫 齋藤庸子(10:30～)	高柳明夫 豊田朋弘(10:30～) 高柳明夫	出張医 豊田朋弘(10:00～) 交代診療	
産婦人科	午前	1診 山田俊【予約】 2診 小山貴弘 3診 藤井タケル【予約】 4診 助産師外来(妊婦健診) 交代診療(産後外来実施日)	小山貴弘【予約】 佐々木瑞恵 小田泰也【予約】 交代診療	小田泰也【予約】 藤井タケル 山田俊【予約】 山田俊	佐々木瑞恵【予約】 交代診療 産後健診(NICU) 助産師外来(妊婦健診)	藤井タケル【予約】 山田俊 小山貴弘【予約】 1ヶ月健診	
		午後(診療14:00～)	1診 助産師外来(妊婦健診) 2診 助産師外来(妊婦健診) 3診 助産師外来(産後育児外来)	助産師外来(妊婦健診) 交代診療 助産師外来(産後育児外来)	助産師外来(妊婦健診) 助産師外来(産後育児外来) 助産師外来(産後育児外来)	助産師外来(産後育児外来)	1ヶ月健診
	眼科	午前 午後(診療14:00～)	1診 藤尾直樹 2診 宮本美帆	藤尾直樹 宮本美帆	藤尾直樹 宮本美帆	藤尾直樹 宮本美帆 藤尾直樹 宮本美帆	藤尾直樹 宮本美帆
耳鼻咽喉科	午前 午後(診療14:00～)	1診 大湊久貴 2診 太田亮	大湊久貴 太田亮	大湊久貴 太田亮	大湊久貴 太田亮	大湊久貴 太田亮	
皮膚科	午前 午後(診療14:00～)	1診 神谷詩織 2診 藤江千果	神谷詩織 藤江千果	神谷詩織 藤江千果	神谷詩織 藤江千果	神谷詩織 藤江千果 神谷/藤江(交代診療)	
麻酔科(ペインクリニック・予約)	午前	実藤洋一		神田知枝		笠井裕子	
放射線診断科	午前	杉浦充			杉浦充		
禁煙外来【予約】	午後(診療13:30～)	長井桂			原田敏之		

JCHO北海道病院

〒062-8618 札幌市豊平区中の島1条8丁目3-18

URL <https://hokkaido.jcho.go.jp> facebook <https://www.facebook.com/jchohok>

〈医療機関専用：総合支援センター直通〉 TEL 0120-515-830 FAX 011-815-1005

ホームページはこちら

